

## 総務文教常任委員会審査概要報告書

委員長 林 貴文

- I 開催年月日 令和 3 年 2 月 8 日 (月)
- II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 10 時 55 分
- III 出席委員等 [出席委員] ◎林 貴文 ○山口 泰祐 石須 大雄  
高岡 宏和 横田 誠二 吉田 健太郎  
福井 直樹 大井 正樹 畠 起也  
(◎…委員長 ○…副委員長)
- [説明員] 別紙名簿のとおり
- [委員外議員] なし
- [事務局職員] 西本 幸夫 松本 武司 関本 尚彦
- [傍聴者] なし

### IV 審査の概要

#### 1 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

[市長政策部]

- (1) 赤レンガの銀行（旧富山銀行本店）の無償譲り受けについて
- (2) クリエイター向け情報発信事業について
- (3) 万葉歴史館の改修工事について

〈 委員から次の質疑等があった。 〉

( 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 )

#### 【クリエイター向け情報発信事業について】

- クリエイター向け情報発信事業の今後の展開は。
- △ 令和 2 年度は、クリエイターと工房をどのようにつなぎ、協働制作を行うかについて、モデル的に取り組んだものであり、各マッチングチームでは、事業目標であった試作品を制作することができた。今後、商品化や販売に向けた取組みがあれば、情報発信等において支援していきたいと考えている。3 年度以降、この事業の成功事例を受けて、同様の取組みを行いたいという方が増えるよう、職人や工房の紹介、

協働事業の事例について、随時情報発信していきたい。また、問い合わせがあれば、個別に対応したい。

- この事業については、とても良い感じでスタートが切れており、高岡の魅力にもつながっていくと思っている。本市としてもクリエイターと工房の間に入り、うまくマッチングする取り組みを今後も継続してほしい。(要望)
- 今回はクリエイターに特化して取り組んでいるが、関係人口の創出拡大に向けた取り組みについて、これ以外にどのようなことを行うのか。
- △ 本市の歴史文化、ものづくりといった特色を活かした取り組みについては、各方面で広げており、特に高岡の特定の分野に興味を持っている方々については、移住定住の視点からも個別に情報提供を行ったり、関係事業者等のコラボをご紹介する取り組みも進めていきたい。
- 大伴家持が歌人として開眼したのは越中に来たからだということ指摘する研究者もいるので、例えば万葉歴史館を拠点に「歌人の聖地」として打ち出すことも考えられる。また、城郭の魅力は天守ではなく縄張りだと述べる研究者もいることから、高岡古城公園の城郭の魅力を発信する中でコアなファンを取り込んでいく工夫もできると思う。今後も関係人口拡大に向けた施策について研究いただきたい。(要望)

#### 【赤レンガの銀行（旧富山銀行本店）の無償譲り受けについて】

- 外壁の赤レンガだけが注目されているが、建物内部の歴史的な価値についても、しっかりと確認すべきと考えるが、見解は。
- △ 内部は、吹き抜けの天井部分や回廊などがあり、建築史的にも評価されるべきとの指摘もある。どのように保存していくかについて、今後専門家との協議の中で議論したいと考えている。
- 平成30年に歴史的建造物の利活用について、熊本市へ会派視察を行った際、建物の耐震補強を行ったうえで、コンサート会場として市民に開放している事例を伺った。赤レンガ建物の利活用方法は有識者と協議中とのことであるが、具体案は出ているのか。
- △ 赤レンガ建物は、これまでにオフィス（銀行）として利用されていた建物である。今後、用途の見直しについては、幅広く検討していくこととし、限定的な意見は出していない。耐震診断の結果を踏まえた建物の補強計画とも関連するため、利活用方法については今後検討していく。
- 耐震補強に多額の経費がかかる場合には、利活用方法も変わってくると考えて良いのか。
- △ 令和2年度の耐震診断等の内容を踏まえ、専門家の意見もお聞きしながら、方向性、考え方について3年度に議論していく。

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

[総務部]

- (1) 臨時窓口の開設について
- (2) スマートフォン決済による市税等の納付について

〈 委員から次の質疑があった。 〉

【臨時窓口の開設について】

- 臨時窓口について、利用者が少ない日にも多くの職員が出勤していた事例が過去にあったと認識しているが、令和元年度の利用実績は。
- △ 利用実績については、3月20日が193件、同月29日が109件、4月5日が153件であり、各日概ね30人から35人の職員が勤務した。窓口の利用件数も踏まえながら、なるべく無駄がないよう職員を配置したい。
- マイナンバーカードの臨時窓口は、毎月1回開設しているとのことであるが、申請と受け取りは同日にできるのか。
- △ 申請から受け取りまでは、1、2か月程度の時間を要する。平日の来庁が難しい方には、申請をインターネットで行っていただき、臨時窓口で受け取る方法もある。

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔教育委員会〕

- (1) 学校給食調理業務の委託業者選考結果について
- (2) 人生100年時代にあって、地域の絆でコロナ禍を乗り越えるこれからの市立公民館の運営について

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

## 2 その他

〈 委員から次の質疑があった。 〉

【学校教育における雪害対策等について】

- 通学路における除雪は確保されたのか。また、問題点と今後の対策は。
- △ 大雪による臨時休業後の学校再開にあたり、各学校においては教職員が通学路を実際に歩いて除雪状況の点検を行った。また、PTAや連合自治会長等、地域の方にもご協力いただき、歩道や交差点、集団登校の待機場所等の除雪作業を実施した。  
また、教育委員会では、Web会議による校長会を開催し、校長はじめ教職員、PTAが現地を回り収集した情報を共有するとともに、市道の除雪を優先して進められるよう土木維持課とも情報共有し対応した。さらに、県道、国道については各道路管理者に対し、速やかな除雪を要請した。

この結果、1月14日の新学期開始時にはほぼ通学路は確保できたが、県道、国道については、車道の除雪が優先され、歩道の除雪が遅れた箇所があった。これに

については、保護者の送迎や付き添い、教職員の付き添い下校等で対応した。また、雪により通学路を変更する場合には、マップ等をホームページに掲載するとともに、パトロール隊の方とも情報共有し子どもを見守った。今後も、通学路の状況把握に努めるとともに、道路管理者には通学路の優先的な除雪を働きかけたいと考えている。

○ 登下校時の安全指導はどのように行ったのか。

△ 各学校においては、学級指導の時間等に児童生徒の発達段階に応じ、安全指導を行ったほか、保護者の方へのメール等により、子どもたちへの指導をお願いした。また、地域の見守り隊とも協力して安全指導を行った。帰りの会等においても、降雪や除雪後の雪山等により見通しが悪くなっているため特に交差点では安全確認を行うこと、積雪時等でやむを得ず車道を歩く場合には自動車との接触事故に遭わないこと、また、軒下など落雪の危険がある場所、側溝や用水路がある場所には十分注意する等の指導を行った。

○ 雪害を機に防災知識の普及と意識の啓発に努めては。

△ 学校長を筆頭に教職員の的確な判断と迅速かつ冷静な指示、行動が児童生徒の安全確保に大きく影響すると考える。このため、日ごろから教職員に対しては、危機管理マニュアル等で研修を行うとともに、今回のような事例においては、現地を自分たちの目で見て確認し、具体的な指導を行うということで教職員の資質を高める必要があると思っている。また、児童生徒については、自らが危険を回避し、身を守る習慣を身に付けることが重要であると考えており、学級活動などで日ごろから安全指導に取り組むとともに、教職員が実地にて子どもたちに指導を行うことも大切と考えている。今後も機会を捉えて繰り返し指導に努めたい。

○ 平成30年と今回の雪害対策に違いはあったのか。

△ 今回は、平成30年の経験があったので、より早く、具体的に対応できたと考えている。平成30年については、あれほど多くの雪が降る経験がこれまでに無かったため、学校における対応も比較的時間がかかった。一方、今回は、学校の休業等に関する保護者への連絡についても前日、前々日の早い段階からメールで伝達することができた。また、オンラインによる校長会を頻繁に行い、課題等を校長、教育委員会で共有して対応できたことについては、前回と比べ極めてスムーズであった。加えて、個々の対応についても、前回の経験を踏まえ、先を見て対応できたと考えている。

#### 【高岡市地域防災計画「雪害編」への反映について】

○ 市民や各部局からの意見、問題点等の情報を共有し、高岡市地域防災計画「雪害編」に反映すべきと考えるが見解は。

△ 令和3年1月9日から1月20日までの期間、雪害対策本部を立ち上げ、道路除雪や家屋の破損の状況等に係る相談について対応した。また、各部局に職員の派遣を依頼し、本部での電話対応や道路除雪の交通誘導の対応に当たってもらった。なお、空き家の状況確認や高齢者宅の雪下ろし対応も各部局では行っており、現在、それぞれの部局で対応した内容を集約中である。今回の経験をもとに、市民の意見や各部局で対応した内容を地域防災計画に活かせるよう努めたい。

**【牧野地区における「もっと！ホット！高岡」の視聴について】**

- 高岡ケーブルネットワークで放送されている「もっと！ホット！高岡」は牧野地区での視聴は可能なのか。
- △ 射水ケーブルネットワークによって、牧野地区でも視聴は可能であり、放送時間は、午時10時15分からと午後3時45分からの毎日2回である。このほか、市議会や行政情報に関する番組についても牧野地区での視聴は可能となっている。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

総務文教常任委員会 当局説明員（15名）

|                            |        |                         |       |
|----------------------------|--------|-------------------------|-------|
| 市長政策部長                     | 鶴谷 俊幸  | 教育長                     | 米谷 和也 |
| 市長政策部次長<br>都市経営課長・広域連携推進室長 | 久郷 聡   | 教育次長・参事                 | 杉森 芳昭 |
| 広報情報課長                     | 新田 泰弘  | 教育次長<br>学校教育課長・教育改革推進室長 | 杉山 智充 |
| 文化創造課長                     | 寺井 知恵  | 教育総務課長                  | 中保 哲憲 |
|                            |        | 生涯学習・文化財課長              | 大野 洋靖 |
| 総務部長<br>選挙管理委員会事務局長        | 二塚 英克  |                         |       |
| 総務部次長                      | 戸田 龍太郎 |                         |       |
| 総務部次長・参事<br>財政課長           | 長久 洋樹  |                         |       |
| 総務課<br>危機管理室長              | 割田 一郎  |                         |       |
| 人事課長                       | 長谷川 聡  |                         |       |
| 納税課長                       | 柴野 泰彦  |                         |       |
|                            |        |                         |       |
|                            |        |                         |       |
|                            |        |                         |       |
|                            |        |                         |       |
|                            |        |                         |       |
|                            |        |                         |       |
|                            |        |                         |       |
|                            |        |                         |       |